

輝く“ふくろい”

まち・ひと・しごと創生総合戦略

やらまいかREPORT2020

進捗状況報告書【令和元年度版】



【写真】ふくろい版ホームステイ

令和2年9月

袋井市

目次

第1章 全体のまとめ	3
第2章 人口動態	4
第3章 総合戦略 [3つの挑戦／政策パッケージ]	
挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦	6
◇ふくろいトピックス1－4	12
挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦	14
◇ふくろいトピックス5－6	19
挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦	20
◇ふくろいトピックス7－8	25
第1期総合戦略の総括	26
第4章 戦略を支える取組 [第2次総合計画]	27
第5章 地方創生交付金等の活用状況	29
◇ふくろいトピックス9－11	35
第6章 参考資料 [やらまいか通信 (抜粋)]	39

第1章 全体のまとめ

1 人口動態の概要

- (1) 本市人口は88,316人（R2.4.1現在、前年対比95人増）と増加し、人口ビジョンで設定した目標人口推計を上回る結果となった。
- (2) 合計特殊出生率は「1.67」（H30）となり、平成29年数値から0.12ポイント減少した。令和元年も若年女性人口は減少が続き、出生数が前年比64人の減。また、子育て世代（30～40歳代前半）の市外転出超過に歯止めがかかっていないため、引き続き転出の抑制に向けた対策が必要。
- (3) 県人口推計（R2.4.1現在）では、県全体人口は3,624,878人で平成27年国勢調査（H27.10.1）から75,427人（2.0%）の減少。人口増加は、本市を含む2市1町のみ。

2 戦略（政策パッケージ）の概要

総合戦略では、本市の人口ビジョンに掲げる将来目標人口の実現や総合計画の早期実現に資する取組を加速させるほか、人口減少を抑制していくための「抑制戦略」と人口が減少する社会においても市民が快適に暮らし続けられるための「適応戦略」を“3つの挑戦（政策パッケージ）”として掲げ取り組んでいる。

■ 3つの挑戦の取組 [全13取組のうち、3取組が達成、8取組が順調、2取組が難航]

挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

- (1) 経済産業省「未来の教室実証事業」の実施など、ICT教育の実証研究を行った。
- (2) エコパにて自動運転走行の実証実験を実施した。
- (3) 袋井市静岡モデル防潮堤整備事業と連動し整備を進めた「豊沢工業団地」に、トッパン・フォームズ東海(株)袋井工場が竣工した。
- (4) エコパを会場に開催されたラグビーW杯2019を契機に、国内外に向け積極的に本市の特産品や観光等のシティプロモーションを実施した。また、大会期間中は「ふくろい版ホームステイ」やゲストが書道や生け花を行う「日本文化体験」を実施し、市民との国際交流機会を創出することで「まちの国際化」を推進した。

挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

- (1) 夜間における観光消費の拡大を目的とした「夜の賑わいづくり創出事業」や、観光交流客数が減少する夏場の誘客を目的とした「遠州三山風鈴まつり」を実施した。
- (2) 海外の食品見本市やレセプションでのPRや、大手食品メーカー等と連携した商品開発を行い、クラウンメロンの販路拡大やブランド力の向上に取り組んだ。

挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

- (1) 「ふくろいTaskAr network」（厚労省事業）を活用し、「大人の社会科見学」や「しごと体験」等の試行を重ね、3Days Worker's Office構想の実現に向け事業の推進とシルバー人材センターとの統合を図った。
- (2) 働く世代を中心に健康づくりへの意識を高めるため、地域等へ出向いての出張保健センター事業や企業に向けた健康経営の啓発、食育推進等を実施した。
- (3) ミズベリング（原野谷川の水辺空間を活用したイベント）や公園や道路等の歩行空間の整備を行い、公共空間の多面的かつ創造的な利用を促進した。

3 戦略の推進について

本戦略の推進にあたっては、総合計画の評価と併せ、施策の進捗や効果等について評価し、「輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議」を中心に幅広い分野の方々の意見を伺いながら、PDCAサイクルによる継続的な改善を図り、地方創生の実現に向けて常に戦略の進化を追求していく。

第2章 人口動態

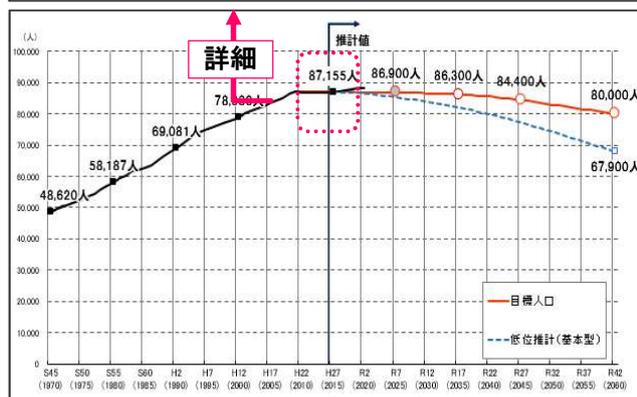
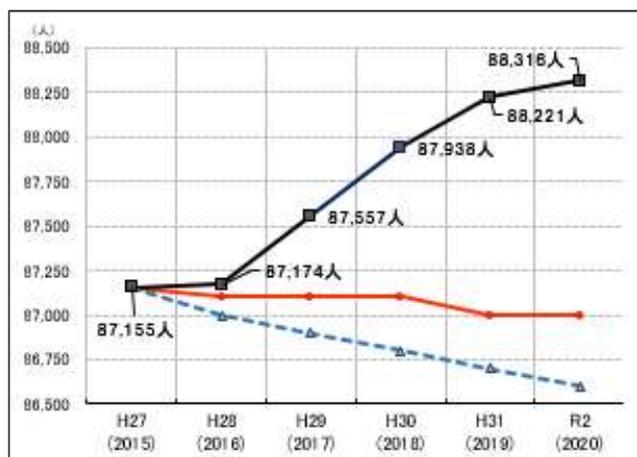
1 現状と課題

- (1) 本市人口は88,316人（R2.4.1現在、前年対比95人増）と増加し、人口ビジョンで設定した目標人口推計を上回る結果となった。
- (2) 合計特殊出生率は「1.67」（H30）となり、平成29年数値から0.12ポイント減少した。令和元年も若年女性人口は減少が続き、出生数が前年比64人の減。また、子育て世代（30～40歳代前半）の市外転出超過に歯止めがかかっていないため、引き続き転出の抑制に向けた対策が必要。
- (3) 県人口推計（R2.4.1現在）では、県全体人口は3,624,878人で平成27年国勢調査（H27.10.1）から75,427人（2.0%）の減少。人口増加は、本市を含む2市1町のみ。

2 人口推計【3区分別人口】（令和2年4月1日現在）

図表1 人口推移と3区分別人口の推移

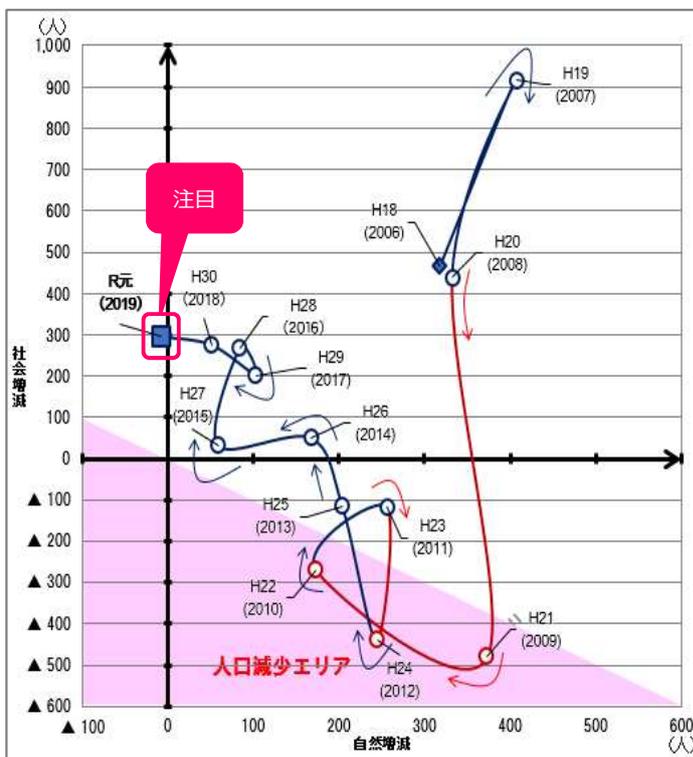
人口は増加(対前年比+95人)しているが…
 少子高齢化は進行(年少▲0.2%・老年+0.3%)



図表2 自然増減と社会増減

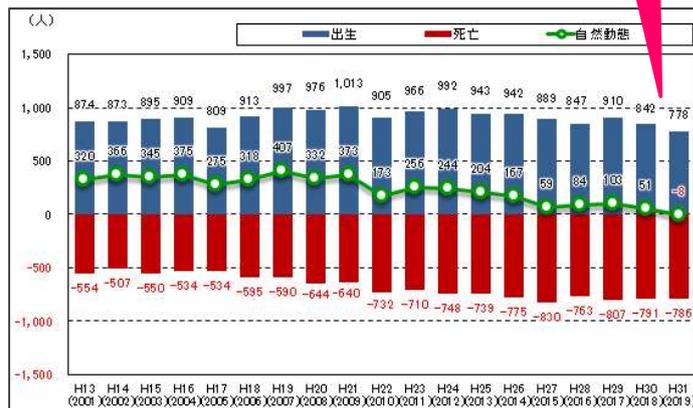
社会増減が増加(対前年比+20人)するも
 自然増減が減少(対前年比▲59人)

出生数が死亡数を下回り自然増減がマイナスとなった



図表3 自然増減推移

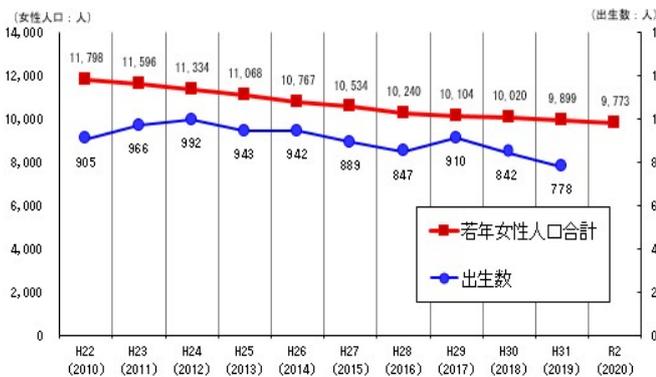
出生数が700人台まで減少(対前年比▲64人)



3 出生に関する状況（出生数の推移）

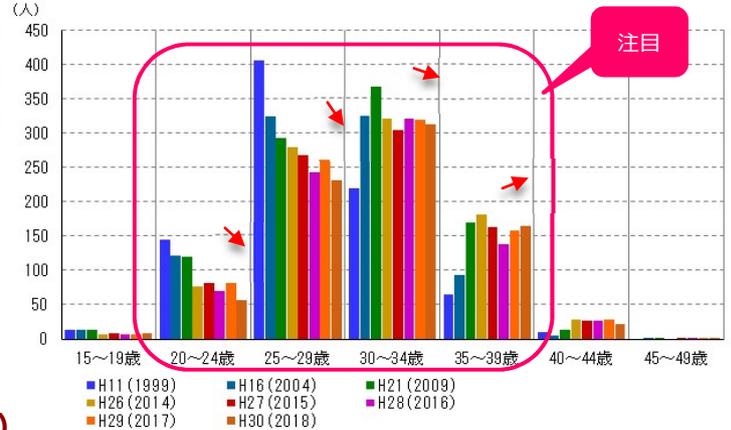
図表4 若年女性人口と出生数推移

平成30年の合計特殊出生率は0.12%減少
若年女性人口も減少が続く(H31→R2▲126人)



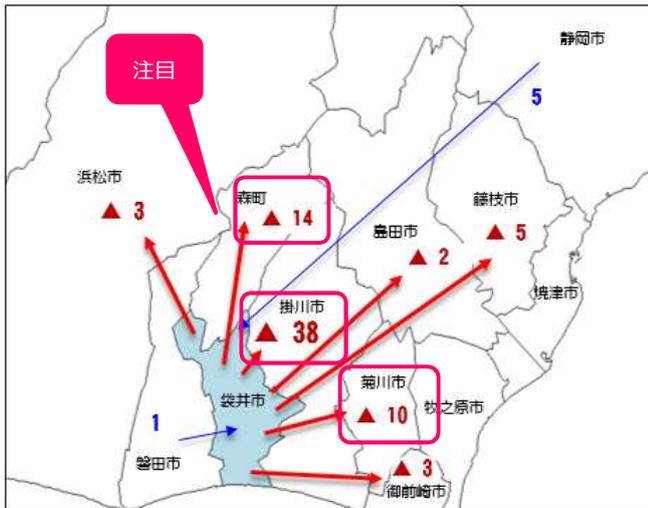
図表5 母親の5歳階級別出生数の推移

20歳代の出産が減少
30～34歳の出産が最多、晩産傾向は依然強い



4 子育て世代の動向（5歳階級別男女増減数）

図表6 子育て世帯（0～9歳）の近隣市町への転出入状況（H31）
子育て世帯の近隣市への転出超過が続く



図表7 5歳階級別増減人数

子育て世帯(5～9歳)の転出が依然続く

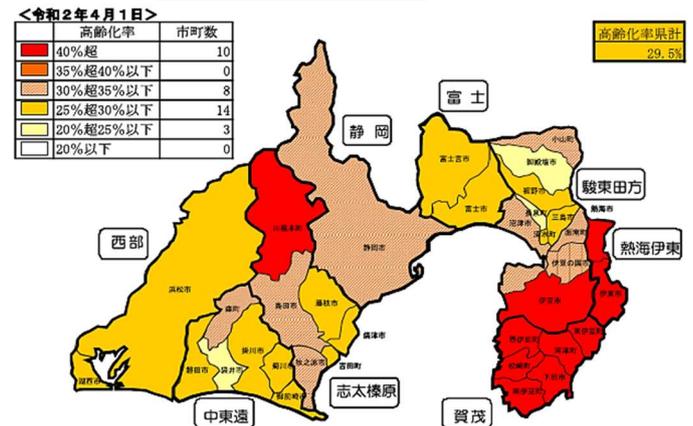
年齢階級	H27	R2	増減
年少			
0～4歳	4,519	3,970	-
5～9歳	4,585	4,410	▲109
10～14歳	4,367	4,609	▲24
15～19歳	4,174	4,365	▲2
20～24歳	4,137	4,453	279
25～29歳	5,325	4,745	608
30～34歳	6,251	5,536	211
35～39歳	6,549	6,164	▲87
40～44歳	6,757	6,440	▲109
45～49歳	5,372	6,727	▲30
50～54歳	4,984	5,417	45
55～59歳	5,452	4,931	▲33
60～64歳	5,924	5,410	▲42

5 他都市との比較（袋井市のポジショニング）

図表8 県人口推計（R2.4）とH27国勢調査（H27.10）比較
県内30市町で人口減少、増加は2市1町のみ

増加人数（人）		増加率（%）	
1 袋井市	1,121	1 長泉町	1.8
2 長泉町	756	2 菊川市	1.5
3 菊川市	710	3 袋井市	1.3
4 掛川市	▲122	4 掛川市	▲0.1
5 吉田町	▲220	5 清水町	▲0.6
減少人数（人）		減少率（%）	
1 静岡市	▲16,374	1 南伊豆町	▲15.5
2 浜松市	▲8,195	2 川根本町	▲12.9
3 沼津市	▲6,858	3 西伊豆町	▲12.5
4 富士市	▲4,176	4 松崎町	▲11.3
5 伊東市	▲3,349	5 下田市	▲9.5

図表9 県内高齢化率調査（R2.4.1現在）
県の高齢化率は過去最高の29.5%、
本市は23.9%（23市で一番「若いまち」）



挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

人を惹きつける地域資源を活用し、若者が魅力を感じ、集い、住みたい、住み続けたいなど、若い世代を呼び込めるまちづくりに挑む。

取組1 ICT教育環境の充実

子どもたちの自ら学ぶ力を養い、教職員が子どもとふれあう時間を確保することで、学力の向上に資すると共に、心ゆたかで個性と創造性に富み、21世紀を生き抜く力を持った子どもを育成するため、ICT教育環境の充実を図る。

■わかりやすい授業の実践

授業におけるユニバーサルデザインを推進し、児童生徒の学習意欲と「確かな学力」を向上させる。

■校務の合理化・効率化の推進

児童生徒との触れあいや教材研究の充実を図るため、多様化している校務の合理化と効率化を推進する。



【写真】ICT機器を活用した授業

取組2 未来を拓く「遠州商人」の育成

将来の地域産業や経済を担う人材を育成するため、より実践的な職業教育を行う新たな高等教育のあり方として、中学卒業後の5年一貫教育を推奨し、タフでグローバルな感覚を持った起業人の育成など郷土を愛する遠州商人を創出させる。

■袋井商業高等学校5年制化の推進

「袋井商業高等学校の5年制化」を提唱し、全国で初となる公立商業高校の高等専門学校の新設を含め、その実現に向けた働きかけを行う。

取組3 静岡理工科大学との連携強化

地域や企業との連携を強化し、新技術や新製品等の創出に繋がる共同研究を支援する。

また、地域との交流や地域課題への取組を通じて、地域への愛着を育む。

■新しい事業の創出支援

静岡理工科大学と市内企業との交流を深め、新技術や新製品等の創出に繋がる共同研究を支援する。

■地域課題解決型“地（知）の拠点事業”の推進

大学を地域における知的拠点と捉え、地域の課題解決に向けた連携をさらに強化し、学内の知的資源をフル活用する。



【写真】学生フォーミュラ

取組4 内陸フロンティアを拓く取組の進化

防災・減災対策の充実・強化と地域資源を活用した新しい産業の創出と集積に加え、袋井らしいライフスタイル実現の場の創出を目指し、内陸フロンティアを拓く取組を進化させる。

■袋井らしいライフスタイルの創出

継続的に趣味が実現できる場の創出に向け、公園など公共施設の活用方法を見直し、豊かな自然や農業資源の活用を図る。また、地域への愛着と人の絆など、定住の促進を図る。

■創業希望者の支援

地域の創業希望者を支援することで創業を促進し、地域経済の活性化及び雇用の確保を目指す。

■魅力的な工業用地の確保

将来にわたる地域雇用の場を確保するため、優良企業の立地を促す工業用地を創出する。



取組5 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

[写真] トッパン・フォームズ東海(株) 袋井工場

若者が結婚を機に本市に新居を構え、出産子育ての時期を、安心して楽しく過ごすことができるよう家庭、地域、企業、行政がそれぞれの役割を担いながら連携・協力し、妊娠、出産、子育てまでの段階に応じた多様な支援を行う。

■アクティブ育児応援プログラム推進事業

幼少期の多様な動きの習得や親子の触れ合い機会創出など、アクティブな育児環境を実現させる。

■子ども・子育て支援エリアの充実

子ども・子育て支援の一体的なエリアとして施設を集約し、連携強化と機能の充実を図る。

■子育て世代包括支援センターの開設

母子保健と子育て支援の総合相談窓口を開設し、妊娠期～子育て期の支援体制を強化する。

取組6 シティプロモーションの充実・強化

“誇りと愛着のもてるまち”を目指し、自らがシティプロモーションの担い手となって袋井の魅力を磨き、育て、発信できる仕組みを設けるとともに、全国・世界を視野に、本市の都市ブランド力を向上させ、移住・交流人口の増加につなげる活動を展開する。

■「魅力ある袋井」を発信できる人材の育成

本市の潜在性（ポテンシャル）を引き出し、自らが語り部となって情報発信できる人材を育成する。また、多様なまちの魅力を発信し共感し合う市民の輪を広げ、新たな地域文化を創造する。



[写真] 日本文化体験（生け花）

■全国・世界に向けた情報発信力の強化

人口の首都圏一極集中を打開するため、移住希望者を視野に情報発信する。

また、本市周辺の大学や専門学校などに留学している外国人の協力のもと、本市の存在を世界に向けてアピールし、交流人口の増加を促す。

挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

1 現状と課題

- (1) 「ICT教育環境の充実」については、「自ら考える力」を効果的に育むため、協働学習の充実や家庭学習の質を高めるICTツールを活用し、市モデル事業「未来の教育実証事業」や経済産業省モデル事業「未来の教室実証事業」を実施した。また、小学生を対象とした「ロボット・プログラミング教室」を開催し、論理的思考力や情報活用能力の向上に取り組んだ。今後の課題は、教員のICTリテラシー向上や1人1台端末の整備であり、国や県の支援制度等を積極的に活用し、早期実現を図っていく。
- (2) 「未来を拓く『遠州商人』の育成」については、「袋井商業高等学校5年制化」の推進を図るため、平成27年度に県知事及び県教育長に対し「要望書」の提出を行った。それを受け、県教育委員会が平成29年7月に「商業教育高度化対応研究委員会」を設置。今年度は、同研究会が金沢商業高等学校と富山高等専門学校を視察した。今後の課題は、県における商業教育高度化に向けた調査研究や議論の熟度を高めることであり、引き続き、関係者らと連携し要望していく。
- (3) 「静岡理工科大学との連携強化」については、ECOPAドリームプロジェクト（自動運転走行実証）のほか、袋井市産学官連携推進協議会が市内企業と静岡理工科大学の交流や連携を目的に「共同研究・開発促進セミナー」等を開催した。また、「大学との包括連携に関する協定書」（平成25年6月締結）に基づいた取組として、「地域学講座」や「お理工塾」等を開催した。
このほか、8月に小笠山総合運動公園（エコパ）で行った「全日本学生フォーミュラ大会」の開催や静岡理工科大学技術研究会の活動を支援した。今後の課題は、地元企業をいかに巻き込み、地域産業の発展に貢献できるかであり、新たな産学官連携のあり方を構築していく。
- (4) 「内陸フロンティアを拓く取組の進化」については、袋井市静岡モデル防潮堤整備事業と併せて整備を進めてきた豊沢工業団地に、トッパン・フォームズ東海(株)袋井工場が竣工し、令和元年10月31日から操業を開始した。小笠山工業団地開発事業については、北側区域D・E区画で開発協定を締結し、測量設計調査を開始した。また、南側区域A区画で進出協定、B・C区画の一部について、進出申出書の提出を受け承認した。今後の課題は、事業の着実な進展に向けた地元調整や許認可申請等の円滑化であり、引き続き、民間開発事業者らと連携を図り、必要な支援を講じていく。
- (5) 「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」については、子ども・子育て支援エリア「育ちの森」や妊産婦・子育て世代の総合相談窓口「子育て世代包括支援センター」による相談・支援、巡回型子育て支援センター運営事業の実施のほか、「子育て応援アプリ（フッピーのぽっけ）」による子育て情報の発信等により、きめ細やかな子育て支援を行った。
また、幼児の多様な動きの習得や親子の触れ合いを目的とし、「出前親子うんどうあそび教室」を開催した。今後の課題は、相談や支援を必要とする対象者との接点をいかに構築するかであり、関係機関との連携をさらに強化していく。
- (6) 「シティプロモーションの充実・強化」については、ラグビーW杯2019の開催に向けて機運醸成のイベントを実施した。また、大会当日はおもてなしエリアにて、本市のPRを目的としたノベルティ（ペットボトルホルダー、ポストカード）の配布や特産品の販売等を行い、本市の魅力発信とシティプロモーションの促進につなげた。このほか、登録いただいた約100世帯のホスト家庭を対象とした「ふくろい版ホームステイ」や、ゲストが書道や生け花を行う「日本文化体験」を大会期間中に実施し、市民との国際交流機会を創出した。今後の課題は、エコパや観光施設などへの来訪者に対するアプローチの強化であり、多様な手段と機会を活用し、シティプロモーションを展開していく。

2 主な取組の進捗状況

☆…地方創生交付金活用事業

取組名	進捗状況					進捗状況等の説明	担当課
	未着手	着手	順調	難航	達成		
1-1 ICT教育環境の充実						<ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器や学習支援ソフトを活用した新しい学習モデルの実証研究を今井小学校で実施☆ ○小学生向けプログラミング教室開催(10~12月、参加者市内小学生と保護者25組)☆ 	学校教育課 教育企画課 ICT政策課
1-2 未来を拓く「遠州商人」の育成						<ul style="list-style-type: none"> ○H27年度末に県知事及び県教育長に「要望書」提出、県教育委員会が具体的な対応を検討中。RIは商業教育高度化の先進地視察を行った。 	市長公室
1-3 静岡理科大学との連携強化						<ul style="list-style-type: none"> ○ECOPAドリームプロジェクト(2/27自動運転走行実証実験)☆ ○「地域学講座」開催(全4日間 49人) ○産学官連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・共同研究・開発促進セミナー(1/16、2/17 31人) ・技術研究会への活動支援(モータドライブ、アグリニクス、金型) ○全日本学生フォーミュラ大会(8/27~@エコパ)開催の支援(延べ来場者16,332人) ○コミセンDEお理工塾(コミュニティセンター3箇所で開催) ○ラグビーW杯2019おもてなしエリアへVRキック体験ブース出展(全4日間) 	企画政策課 産業政策課 生涯学習課 スポーツ政策課 市長公室
1-4 内陸フロンティアを拓く取組の進化						<ul style="list-style-type: none"> ○豊沢工業団地のトッパン・フォームズ東海(株)袋井工場が竣工した。小笠山工業団地北側区域D・E区画で開発協定を締結、南側区域A区画で進出協定締結、また、B区画及びC区画の一部で進出申出書が提出された。 ○創業支援事業の実施☆ <ul style="list-style-type: none"> ・創業相談会(全10回/11人相談) ・創業セミナー(2回) ・創業塾(全6回、7人) ○袋井市静岡モデル防潮堤整備事業利活用基本計画に基づきワークショップの運営支援☆(4回 約270人) 	産業政策課 建設課 市長公室
1-5 安心して子どもを産み育てられる環境づくり						<ul style="list-style-type: none"> ○育ちの森、子育て世代包括支援センター・巡回型子育て支援センターによる相談・支援☆ ○子育て応援アプリ「フッピーのぽっけ」推進☆ ○出前親子うんどあそび教室☆ 	育ちの森 健康づくり課 すこやか子ども課 スポーツ政策課
1-6 シティプロモーションの充実・強化						<ul style="list-style-type: none"> ○ラグビーW杯2019関連 <ul style="list-style-type: none"> ・ノベルティ作成(東海道五十三次どまん中ハットホルホルダー4,000個)☆ ・シティプロモーション動画作成☆ ・ふくろい版ホームステイ(登録104世帯)☆ ・日本文化体験(書道、生け花等)☆ ・ラグビー“キック”チャレンジ(5/11、2,149人) ・ラグビー“トライ”チャレンジ(6/29、2,067人) ・対戦国料理試食会☆ <ul style="list-style-type: none"> 南アフリカ対イタリアナイト(7/26、53人) ラグビー女子会(8/23、50人) アイリッシュナイト(9/13、85人) ・おもてなしエリアでのPR 	企画政策課 国際課 スポーツ政策課 産業政策課 農政課

3 評価指標の達成度

[評価基準：達成 5点 😄 順調 4点 😊 概ね順調 3点 😊 低調 1点 😞]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

1-1 ICT教育環境の充実

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
授業がよく分かると答える児童の割合 [↑]【出典：学校教育課】	%	— (H26)	88.0	91.0	89.1	90.0	91.5 (90.0)	😊
全国規模の学力調査で全国平均を上回る 科目の割合(小6)[↑]【出典：第2次総合計画】	%	50.0 (H26)	20.0	100.0	0	0	0 (100.0)	😞

1-2 未来を拓く「遠州商人」の育成

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
袋井商業高等学校の5年制化の実現 【出典：市長公室】	—	3年制 (H26)	県知事 要望	県検討	研究会開催	研究会開催	研究会開催 先進地視察 (実現)	😊

1-3 静岡理工科大学との連携強化

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
静岡理工科大学と市内企業の 産学交流研究数(5年間累計) [↑]【出典：第2次総合計画／工業振興計画】	件	15 (H22~26累計)	4 (H27)	7 (H27~28累計)	11 (H27~29累計)	14 (H27~30累計)	15 (20)	😊
若者など市民を対象にした学習機会 [↑]【出典：生涯学習課】	回	30 (H26)	38	36	43	37	39 (50)	😊
大学生との協働活動の実施件数 (5年間累計) [↑]【出典：企画政策課】	回	1 (H26)	2 (H27)	4 (H27~28累計)	8 (H27~29累計)	11 (H27~30累計)	13 (10)	😊

1-4 内陸フロンティアを拓く取組の進化

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
利用を特化した公園数 [↑]【出典：都市整備課】	箇所	0 (H26)	特化内容 検討	特化内容 検討	1	3	0 (3)	😞
公園を利用した展示、販売等のイベント数 [↑]【出典：都市整備課】	回	1 (H26)	4	3	2	4	2 (6)	😊
体験ツアー等参加者数 [↑]【出典：スポーツ政策課】	人	— (H26)	3,300	3,400	3,200	3,500	4,100 (10,000)	😊
農業体験ツアー開催数 [↑]【出典：農政課】	回	— (H26)	2	3	3	3	2 (5)	😊
創業件数 (卸・小売業・サービス業／5年間累計) [↑]【出典：第2次総合計画】	件	94 (H22~26累計)	17 (H27)	24 (H27~28累計)	36 (H27~29累計)	44 (H27~30累計)	59 (130)	😞
新たな工業用地の創出面積(5年間累計) [↑]【出典：産業政策課／参考：工業振興計画】	ヘクタール	— (H26)	豊沢開発 造成中 (8ha)	豊沢開発 造成中 (8ha)	豊沢開発 造成中 (8ha)	豊沢開発 造成完了 (8ha)	8ha (14ha)	😊

1-5 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
運動教室への参加率(企業等の協力度) [↑]【出典:スポーツ政策課】	%	— (H26)	83.0	50.0	48.3	25.5	52.1 (90.0)	😊
子育てが楽しいと感じる人の割合 [↑]【出典:スポーツ政策課】	%	— (H26)	100.0	H29 調査	100.0	100.0	96.3 (80.0)	😊
子育てに関する相談(0～18歳)が切れ目 なく受けることができていると思う保護者の率 [↑]【出典:育ちの森】	%	— (H26)	92.3	100.0	100.0	98.1	98.5 (90.0)	😊
「育ちの森」(相談支援施設)を利用すること で子どもへの理解が深まった保護者の率 [↑]【出典:育ちの森】	%	— (H26)	88.0	94.0	94.2	95.4	95.4 (80.0)	😊
生後2カ月以内の赤ちゃん訪問の実施率 [↑]【出典:健康づくり計画】	%	33.2 (H26)	58.9	75.5	63.7	85.5	64.0 (50.0)	😊
不安や心配を抱える妊産婦(特定妊産婦・ ハイリスク妊産婦を除く)に支援を行った割合 [↑]【出典:健康づくり課】	%	18.5 (H26)	23.8	86.3	84.6	84.0	85.5 (100)	😊

1-6 シティプロモーションの充実・強化

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
市民情報交流サイト「いいね」の数 [↑]【出典:企画政策課】	件	— (H26)	8,830	12,557	24,082	35,459	43,552 (20,000)	😊
市民映画観客動員数 [↑]【出典:生涯学習課】	人	— (H26)	制作 準備	完成 (H29.4～ 上映)	1,258	700	— (10,000)	😞
全国地域ブランド調査における 魅力度の順位 [↓]【出典:企画政策課(地域ブランド調査結果)】	位	787 (H26)	757	574	712	600	686 (300)	😊

【第1期総括】若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦



総合評価



総合評点 3.5

4 創生会議等における主な意見 (■…首都圏部会、●…ふくろい部会)

- デジタル化がもたらす無縁社会への懸念など、人と人のコミュニケーション（顔の見える関係）が再評価されており、出会いの場づくりが必要である。
- デジタル技術の進展により選択肢が増えた一方、ITリテラシーの格差の影響が懸念される。
- 社会・行政サービスがデジタル化する中で、アナログ的な行政サービスの付加価値を見直す必要がある。
- コロナ禍で若者の安全志向が強まるだろう。リスクを取りチャレンジできるような支援が必要ではないか。

① 未来の教室実証研究事業

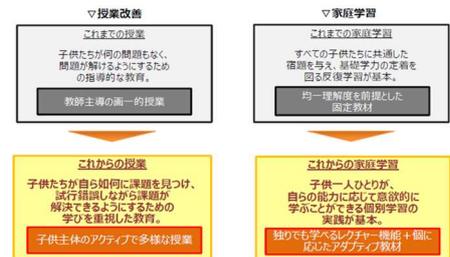
国では、世界各国で進む「創造性」「課題解決力」「科学技術」などを重視した教育改革や「E d T e c h = E d u c a t i o n (教育) × T e c h n o l o g y (技術)」の実装を踏まえ、我が国の産業や地方創生の未来を切り拓く人材(チェンジメイカー)育成を進めるため、『未来の教室』とE d T e c h研究会を設置。

本市においても、経済産業省「未来の教室実証事業」を活用し、ICT機器等の活用による新たな学習モデルの実証研究を行っている。



【写真】ICT機器を活用した授業風景

■ 目指す「未来の教室」(=未来の学び方) の姿



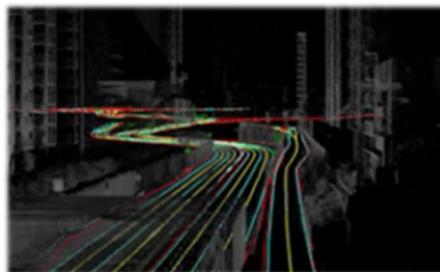
② エコパドリームプロジェクト(自動運転走行実証事業)

ヒトと技術の出会いにより既存産業やまち(地域)のイノベーションの促進を図るため、小笠山総合運動公園(エコパ)を中心とする愛野エリアを近未来技術の実証フィールドに位置づけ、ハンドルのない「特別装置自動車」による自動運転走行の実証実験を行っている。

本年度は、県内初となる公道走行を行い、一般車両との混合交通や横断歩道での一時停止などの正確性を確認した。



【左】3D地図を用いた特別装置自動車



【右】エコパでの公道走行の様子

③ 企業連携の推進

地方創生の実現に向け、固有のノウハウやネットワークを持つ企業と積極的に連携を図ることで、地域課題の解決や市の施策効果の拡大などに加え、企業にとっても新たなビジネスチャンスの創出に繋がるようなwin-winな関係づくりに取り組んでいる。



【写真】トッパン・フォームズ東海(株)袋井工場

◆トッパン・フォームズ東海(株)の新工場「袋井工場」が令和元年10月31日に操業を開始した。また、新工場の操業にあわせて、10月24日に本市と「災害応急対策に関する支援協定」及び「環境保全協定」を締結した。

④ラグビーW杯2019開催（シティプロモーション&まちの国際化）



【写真】ラグビー“トライ”チャレンジ

ラグビーW杯2019の開催に向けた機運醸成とラグビーの普及啓発のため、多くの市民の参画のもと各種イベントを実施するとともに、市内外に広く本市の取組をPRし、賑わいの創出や市の魅力発信につなげた。



【写真】ラグビー“キック”チャレンジ

ラグビー試合当日は、おもてなしエリアにて、本市の観光資源等の浮世絵風イラストとシティプロモーション動画のQRコードを載せたペットボトルホルダー等を配布したほか、本市の特産品の販売促進や観光情報の発信等を行い、国内外から訪れた方へPRを積極的に実施した。



【写真】おもてなしエリアでPR

また、同大会が「エコパ」で開催されることは、市民が世界に目を向け、他国への関心が高まる機会となる。これを機に、異文化や外国語に触れ、親しむ機会を増やすことで、「まちの国際化」を推進し、国際感覚や相互理解力、チャレンジ精神などを持った「ひとづくり」と「地域づくり」を同時に展開させる。



【写真】イングリッシュ・デイキャンプ

挑戦 2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

市民の生活に潤いと安らぎを与える「袋井らしさ」を追求し、地域資源とICTの結合などにより、地域経済を支える産業の生産性の向上と活性化に挑む。

取組 1 遠州三山「寺のある暮らし」推進プロジェクト

本市を代表する観光拠点である遠州三山を中心に、情報発信を強化し、国内外からの観光交流客の誘客と滞在時間を増やすプランの創造やおもてなし環境の整備を推進する。

■新しい賑わいの場づくり

「ここならではの」お土産づくりやメニューの充実、統一感のある門前（雰囲気）づくりのほか、四季折々のイベントを開催するなど、年間を通じた賑わいの場づくりを推進する。



〔左〕 遠州三山ライトアップ



〔中〕 街なかライトアップ



〔右〕 こどもたちの夜遊びプロジェクト

■非日常的な体験や歴史に触れるプランの創生

遠州の古刹めぐり「遠州三山自分巡礼の旅」を基に、歴史的建造物や仏像などを巡るプランのほか、修行体験や精進料理など、地域資源を活用した非日常的な体験や歴史に触れるプランの創造により誘客の促進を図る。

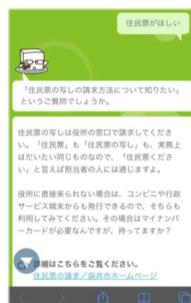


〔写真〕 遠州三山風鈴まつり

■国内外に向けた情報発信の強化

SNSの活用や首都圏・中京圏の旅行会社等の招聘など、本市を知り、実際に訪れてもらうまでの戦略的なアプローチを視野に入れた情報発信を行う。

主要観光施設へのWi-Fi環境の整備のほか、パンフレットや案内看板、ホームページ等の外国語対応を充実させ、インバウンド観光の受入体制の強化を図る。



〔左〕 AI総合案内サービス



〔中・右〕 Wi-Fiアクセスポイント&可搬型Wi-Fi

取組2 農業の未来を創るプロジェクト

基盤整備や作業の効率化による生産性の向上のほか、「強み」のある産地形成に向けた作付け転換、異業種連携や農業法人を含む担い手の育成など、新しい農業を拓く取組を推進する。

■畑地管理の適正化と農地の有効利用

茶畑の作業効率と生産性の向上に向けた基盤整備と集積を図るとともに、茶の転換作物などの研究を推進し、「強み」のある産地形成を図り、農業者所得の向上と耕作放棄地の解消を目指す。

■水田のフル活用と地域に親しまれる米づくり

人・農地プランや農地中間管理機構を活用し、意欲のある担い手への農地集積と水田の高機能化により、生産性の向上と高度利用を図る。また、「(仮称)水田市民農園」を開設し、市民生活に潤いとやすらぎを与えると同時に、米の地産地消の推進を図る。

■クラウンメロンの更なる飛躍

熟練生産者の生産技術を検証し、ICT等を活用した業務の標準化(マニュアル化)をすることで、技術の継承と新規就農を促すと同時に、安定した高品質メロンの生産と出荷増を図る。

取組3 世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立

トレーサビリティをはじめとした安全、安心な体制の確立と産地表示などと併せた知名度の向上などの取組により、国内外のさらなる販路拡大を図る。積極的な販売促進活動を通じた消費者ニーズの獲得により、クラウンメロン等のブランド力のさらなる強化を図る。

■農産物の外的評価の推進

品質や安全性などの農産物の付加価値を高めるため、産地表示、機能性表示、GAP認証などの外的評価制度を活用し、消費者や取扱業者から選ばれる商品づくりを推進する。

■農産物の海外輸出の拡大

東南アジアや中東など、新たな市場の開拓に向けた販売促進活動を展開するほか、EU諸国や米国等への輸出を含め、競争力のある商品づくりと確かな商流の確保に努める。

■クラウンメロンのブランド力の強化

消費者ニーズの更なる獲得に向け、加工品の開発やターゲットを絞った販促活動を実施し、ブランド力の強化と魅力ある商品づくりを促進する。

また、静岡県温室農業協同組合クラウンメロン支所と浜松支所との合併により、生産地としての基盤強化と供給量の確保を図る。



[写真] (英国) 天皇誕生日祝賀レセプション



[写真] クラウンメロンを活用した新商品

挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

1 現状と課題

- (1) 「遠州三山『寺のある暮らし』推進プロジェクト」については、新しい賑わいの場づくりとして、滞在時間を延ばし観光消費の拡大を目的とした夜の賑わい創出事業（遠州三山と袋井駅周辺のライトアップイベント、夜宵ディスコナイト等）や観光交流客数が減少する夏場の誘客を目的とした「夏のふくろい遠州三山風鈴まつり」を実施した。また、これらの取組と連動して、市内の魅力ある個店を発見してもらい、個店の活性化を図るため、店主等が講師となって、専門店ならではの知識やコツを教えてくれる個店セミナー（まちゼミ）や市内の個店をめぐってスタンプを集めるスタンプラリーを企画し実施するなど、個店ならではの魅力を情報発信する個店魅力アップ事業を行った。
今後の課題は、地域内での消費拡大に向け、誘客や滞在時間の増加に繋げることであり、引き続き、多様な主体との連携を強化し、積極的かつ魅力的な事業展開を図っていく。
- (2) 国内外に向けた情報発信の強化については、外国語での情報発信の充実として、日本の各種制度やルールの要点をまとめた「オリエンテーション動画」を外国人向けに5か国語で作成し本市YouTubeチャンネル等で公開した。また、情報発信ツールの充実として、市民等の問い合わせにAIがチャット（対話）形式で回答する「AI総合案内サービス」の導入やJR愛野駅に設置した「デジタルサイネージ（電子看板）」を活用した情報発信を行った。このほか、Wi-Fi環境の整備として、ラグビーW杯2019での観光客等へのサービス向上を目的に、JR袋井駅及び愛野駅にWi-Fiアクセスポイントを常設し、大会期間中も可搬型のWi-Fiを活用したサービスを提供した。今後も市民の利便性の向上や効果的・効率的な情報発信に取り組んでいく。
- (3) 「農業の未来を創るプロジェクト」については、農業の担い手を育成するため農産物の加工や販売、国内外の販路拡大、労務管理、経理などの知識や技術を習得する「ふくろい農業未来塾」を開催し、経営能力の向上を図った。また、新たなビジネスの創出を目的として「ふくろい農商工交流会」を開催した。
このほか、学校給食から出る野菜余りを堆肥化し、その堆肥を活用して栽培した農産物を学校給食に納入するという「循環型社会」に市内の事業所と連携して取り組んだ。
今後の課題は、経営力を有する自立した農業者の育成や新規就農者の確保であり、引き続き、経営能力の向上に資する講座の開催等に取り組んでいく。
- (4) 「世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立」については、ラグビーW杯2019のおもてなしエリアに農産物販売ブースを設け、国内外からの観戦者に対し本市農産物を販売した。
クラウンメロンのブランド力の強化としては、UAE（アラブ首長国連邦）のドバイで開催された中東最大級の食品見本市へのブースを出展したほか、UAEや英国の在外公館が主催する天皇誕生日祝賀レセプションでクラウンメロンをPRし、現地企業と商談を実施した。
また、大手食品メーカー等と連携した商品開発やクラウンメロンのラッピングタクシーを増車し、ブランド認知度の向上を図った。今後の課題は、安定した販路と供給量の確保であり、生産地としての基盤強化に向け、引き続き、ブランド力の強化と競争力のある商品づくりを促進していく。
- (5) 国内での売り上げが低迷する茶については、ラグビーW杯2019における訪日外国人客等をターゲットに開発したふくろい産茶葉100%使用のティーバッグ方式によるお土産品「東海道どまん中袋井茶」を中心に販路拡大と消費促進に努めた。また、市内茶業者の支援を目的に「ふくろい茶応援フェア」を開催しふくろい茶をPRした。今後の課題は、生産性の向上であり、消費者ニーズの獲得に向けた販促活動のほか、生産コストの削減に向けた支援を行っていく。

2 主な取組の進捗状況

☆…地方創生交付金活用事業

取組名	進捗状況					進捗状況等の説明	担当課
	未着手	着手	順調	難航	達成		
2-1 遠州三山「寺のある暮らし」 推進プロジェクト						<ul style="list-style-type: none"> ○夜の賑わい創出事業☆ <ul style="list-style-type: none"> ・遠州三山ライトアップ(11/15～12/8) ・街なか(袋井駅周辺)ライトアップ(11/15～2/16) ・夜宵ディスコナイト(2/10、2/11) ○ふくろい観光ルネッサンス事業☆ <ul style="list-style-type: none"> ・遠州三山風鈴まつりの開催(5/18～8/31) ・まちじゅうひなまつりプロジェクト(1/1～3/3) ○静岡DC☆ <ul style="list-style-type: none"> ・キャラバンin上野駅(4/11) ・キャラバンin浜松駅(5/1) ・キャラバンin東京駅(6/5) ○個店魅カアップ事業☆ <ul style="list-style-type: none"> ・個店セミナー(7/22～9/2、33講座、285人、1/27～2/28、22講座、166人) ・個店めぐりスタンプラリー(8/1～10/31、97店舗) ○キャッシュレス環境整備促進事業☆ <ul style="list-style-type: none"> ・クレジット決済導入説明会 ○国内外に向けた情報発信☆ <ul style="list-style-type: none"> ・AI総合案内サービス ・JR愛野駅デジタルサイネージ活用 ○JR袋井駅、愛野駅Wi-Fiアクセスポイント常設☆ 	産業政策課 国際課 ICT政策課
2-2 農業の未来を創る プロジェクト						<ul style="list-style-type: none"> ○ふくろい農業未来塾(延べ75人) ○給食野菜余り堆肥化プロジェクト☆ <ul style="list-style-type: none"> 袋井給食センターから出る野菜余りをあきは寮にて堆肥化し、できた堆肥で栽培した野菜を学校給食に納入 ○ふくろい農商工交流会(12/13)☆ <ul style="list-style-type: none"> 第1部 農業振興研修会「今、取り組むべきデジタルシフト、SNS活用」(64人) 第2部 異業種交流会(67人) 	農政課 環境政策課
2-3 世界で戦える農産物と ビジネスモデルの確立						<ul style="list-style-type: none"> ○農産物販路拡大事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーW杯2019おもてなしエリアで農産物販売促進(袋井産の一番茶茶葉を100%使用したリーフ茶等) ○クラウンメロンブランド力強化 <ul style="list-style-type: none"> ・中東最大級の食品見本市でPR@UAE ・大手菓子メーカーと連携し商品開発 ・ラッピングタクシー増車 ○ふくろい茶応援フェア(7/16～7/20) 	農政課

3 評価指標の達成度

【評価基準：達成 5点 😊 順調 4点 😊 概ね順調 3点 😊 低調 1点 😞】

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

2-1 遠州三山「寺のある暮らし」推進プロジェクト

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
観光交流客数 [↑]【出典：第2次総合計画 ／観光基本計画(後期計画)】	万人	423 (H26)	466	464	495	475	478 (新505) (旧468)	😊
主要観光拠点のWi-Fi設置数 [↑]【出典：観光基本計画】	件	2 (H26)	3	4	4	5	5 (10)	😊

2-2 農業の未来を創るプロジェクト

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
耕作放棄地解消面積 [↑]【出典：農業振興ビジョン】	㊦	10.7 (H26)	5.6	18.1	30.8	11.3	3.5 (11.0)	😊
農業法人数 [↑]【出典：第2次総合計画／農業振興ビジョン】	社	34 (H26)	34	35	38	37	37 (39)	😊
利用権設定面積 [↑]【出典：第2次総合計画／農業振興ビジョン】	㊦	960 (H26)	961.8	966.9	977.0	978.3	1,014 (1,075)	😊

2-3 世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
お茶の海外輸出货量 [↑]【出典：農政課】	トン	10 (H26)	10	7	10	6	19 (15)	😊
メロン加工品取扱企業の数 [↑]【出典：農政課】	社	31 (H26)	24	28	46	53	60 (35)	😊

【第1期総括】 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦



総合評価



総合評点 4.1

4 創生会議等における主な意見 (■…首都圏部会、●…ふくろい部会)

- 地域内の消費喚起は一層強化が必要である。観光も「多核連携型」の展開を目指すべきである。
- 観光や飲食施設などのオープンエア化など、3密対策を実施した空間の創造が必要である。
- しっかり稼ぐ取組みを推進するには、消費者の購買行動や嗜好性の把握、データに基づいた体験価値の提供に向けた基盤・しくみづくり（DX化）は避けては通れない。また、交流人口や関係人口を増やすことの意義や目的について、市民や関係者らとの相互理解を深めることが良好な関係づくりに重要。

⑤ふくろい夜宵プロジェクト

夜間の観光消費の拡大に着目し、遠州三山と街なか（JR袋井駅周辺）との連動による夜の賑わいづくりを実施した。具体的には、遠州三山や街なかのライトアップ、祭典の弓張提灯による壁面イルミネーション、夜宵ディスコナイト、こどもたちの夜遊びプロジェクトを実施した。



ふくろい夜宵（よるよい）プロジェクト

参加無料

こどもたちの夜遊びプロジェクト

ブラックライトが光るテントブースで遊ぼう！

光る的あて★

日時 11月29日(金)・30日(土)
17時00分～20時00分

12月6日(金)・7日(土)
17時00分～20時00分

場所 ふくろい夜宵の森
(天理教山名大教会 東側) 雨天中止

光るロケットづくりもできるよ！
(寄付でセットを差し上げます)

11/30 Cafe

ほっとするドリンクやフードのお店です。

12/6・7 注目のアトスポットが登場します！

シャボン玉はまるで宇宙空間★

そこは宇宙空間！

ナイトミュージアム

こどもたちの光る作品★

期間中に限り、天理教山名大教会の駐車場・トイレをご利用いただけます

Smiley・Bell

テントの中は、ブラックライト★ミルキーウェイ

パルーンアートで作ったあごがれの月のイスで写真を撮りませんか！



⑥クラウンメロンのブランド力強化

UAE（アラブ首長国連邦）のドバイで開催された中東最大級の食品見本市へのブースの出展やUAEと英国での天皇誕生日祝賀レセプションでクラウンメロンをPRしたほか、現地企業3社と商談を行い取引の成約に至った。また、大手食品メーカー等と連携した商品開発やクラウンメロンのラッピングタクシーを増車し、ブランド認知度の向上を図った。



[左] 中東最大級の食品見本市へブースを出展@UAE



[右] クラウンメロンを活用した新商品

挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

いつまでも光り輝き社会を支える人（アクティブ・シニア）づくりと将来にわたって、持続可能な地域医療・介護提供体制の構築とあわせ、医療費の適正化に挑む。

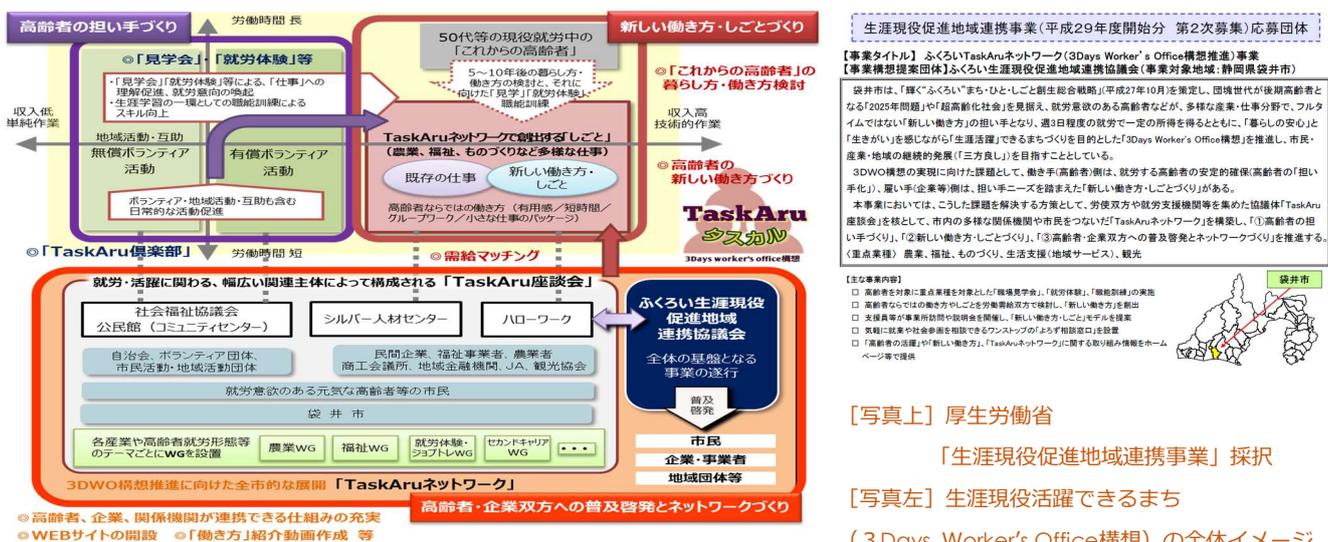
取組1 プラチナ社会の実現への取組

労働力人口の減少、高齢者人口の増大などへの対応と地域課題への解決に資する新たな働き方（生きがい就労）を創出し、市民がいきいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちの実現を目指す。

■3Days Worker's Office構想の推進

高齢者をはじめ、フルタイムでの就労が困難な方などを対象に、「生きがい就労」という新しい働き方を創出し、需要供給の総合調整のほか、ジョブトレーニング等を支援する仕組みを構築する。

[注] 3Days Worker's Office構想とは…「暮らしの安心」と「生きがい」を感じながら、生涯現役で活躍ができる仕組み



■小さな拠点づくり推進事業

誰もがアクセスしやすい場所に医療施設や金融機関、公共サービス施設を集約させることで、車に頼らず、「年をとっても暮らしやすいまち」の創出を目指す。

取組2 セルフメディケーションの推進

「2025年問題」への対応と医療費の抑制に向け、病院や診療所など、限りある地域の医療資源を持続的かつ効果的に利用するために、診療情報の共有化と自己の健康状態を常に把握できる社会基盤を整備する。

[注] セルフメディケーションとは… 自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること

■「地域共通診察券」の導入プロジェクト

「地域共通診察券」の導入により、診療情報の集約と各医療機関の共有化、保健・予防事業との連動を促進することで、セルフメディケーションの推進や健康寿命の延伸へのつながりが期待される。

取組3 歩いて楽しいまちづくり

市の中心核であるJR袋井駅周辺区域と約2.5km北に位置する健康・福祉・スポーツ機能集積エリアまでの区域内を“歩いて楽しい”健康的なまちづくりの先導区域として空間整備する。

■歩いてみたくなる空間の整備

高齢化の進行に伴う医療費等への財政負担を軽減するため、従来から本市で取り組んでいる“歩く”の視点に立って、歩行者主役の心地よい空間を整備する。



[写真左] 東海道五十三次どまん中ふくろいウォーク



[写真右] ミズベリング・プロジェクト

■ウォーキングや健康増進のための活動拠点の整備

ウォーキングや健康増進などに取り組む人達が、集い、交流することができる空間を整備する。

取組4 自転車を活かしたまちづくり

平坦地が多いことや温暖な気候など、自転車利用に適した環境を活かし、自転車利用の推進によって、市民の健康を維持・増進するとともに、医療・介護費等の削減につなげ、「日本一健康文化都市」の実現を目指す。

■自転車を活用した新しいライフスタイルの提案

市民の身近な移動手段である「自転車」を日常生活に取り入れ、新たなライフスタイルの実現に向けて「自転車」の持つメリットである「健康」、「経済」、「環境」、「時間」の4つの分野に分け、各種事業を実施していく。



[写真] エコパで開催された日本学生自転車競技連盟主催の全国大会

挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

1 現状と課題

- (1) 「プラチナ社会の実現への取組」については、生涯現役で活躍できるまち（3 Days Worker's Office 構想）の実現に向け、平成29年から市内の関係13団体で設立した「ふくろい生涯現役促進地域連携協議会」において、国の生涯現役促進地域連携事業の採択を受け、「大人の社会科見学」や「しごと体験」、「座談会」を開催する等、高齢者就労の促進に資する仕組みづくりを行った。令和元年度で厚生労働省の委託事業期間が満了するため、令和2年度以降はシルバー人材センターと機能を統合し事業を実施していく。今後の課題は、新たな機能を含むシルバー人材センター事業の活発化であり、これまで培ってきたノウハウの共有など組織力強化を促進していく。
- (2) 小さな拠点づくりの推進として、地域づくりやコミュニティ活動の拠点であるコミュニティセンターから地域づくりに関する住民への情報発信を強化するため、市コミュニティセンターのLINE公式アカウントとコミュニティセンターに特化した地域版ホームページからの情報発信の有効性について検証した。今後の課題は、登録者を増やし、より多くの方に活用していただくことであり、イベント等の開催告知の際に、知人や友人らに紹介していただく取組等を実施していく。
- (3) 「セルフメディケーションの推進」については、地域の健康に対する意識や知識を高めるため、保健師・栄養士が地域へ出向いて健康相談を行う「出張保健センター」や、地域の公会堂や市内企業・事業所等を会場に健康運動や健康講話を行う「出前健康教室」を実施した。また、働く世代への健康づくりの取組として、「健康経営推進セミナー」の開催や、市内企業・事業所を訪問し「袋井市健康経営チャレンジ事業所」への登録を推進するとともに、健康管理システム「#2961（ふくろい）ウオーク」の普及を図った。なお、本年度は学校給食における地産地消率の向上や食育推進が評価され文部科学省の「学校給食表彰」を受賞した。健康づくりの取組は進んでいる一方、地域共通診察券の導入など、医療と健康との連携にまで至らなかった。今後は、ウェアラブル（衣類等を身に付けたまま使える）端末を活用した健康管理の促進やマイナンバーカードの保険証化など、新しい技術やサービスを市民が上手に暮らしに組み入れるとともに、各市民の健康管理を個人データの活用と医療との連携を含む総合的な観点から支援する取組を目指していく。
- (4) 「歩いて楽しいまちづくり」については、歩いてみたくなる空間やコンテンツを創造していくため、6月に「ふくろい宿de花マルシェ（寄せ植え講座等）」、10月に「東海道五十三次どまん中ふくろいウオーク」、10～3月にミズベリングふくろい（原野谷川にぎわい創出事業）等のイベントを開催した。また、ラグビーW杯2019に向けて、JR愛野駅メモリアルロードの花の植え替えやモニユメントの補修を実施した。今後の課題は、主体的に様々な取組を実施しようとする担い手・団体との連携であり、快適な歩行空間の整備や「ミズベリング」（原野谷川の水辺空間を活用したプロジェクト）の推進や実証事業の実施（規制緩和）など、公園や道路、河川をはじめとする公共空間の創造的な利用を促進していく。
- (5) 「自転車を活かしたまちづくり」については、自転車を活用した新しいライフスタイルの提案を行うため、電動アシスト付き自転車補助金の交付や電動アシスト付き自転車貸出を実施した。また、日本学生自転車競技連盟主催のサイクルロードレースの全国大会を11月に小笠山総合運動公園（エコパ）で開催し、おもしろ自転車体験コーナーや東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技PRコーナーを設置し、自転車競技への理解が深まる取組を推進した。全国規模の貴重なイベントの場であるため、今後もサイクリススポーツとしての自転車の推進を図っていく。今後の課題は、自転車を活用した生活をいかに定着させるかであり、引き続き、イベント等を通じてサイクリングや自転車の魅力を伝えるとともに、安全で快適に走ることができる環境づくりにも取り組んでいく。

2 主な取組の進捗状況

☆…地方創生交付金活用事業

取組名	進捗状況					進捗状況等の説明	担当課
	未着手	着手	順調	難航	達成		
3-1 プラチナ社会の実現への 取組						<p>○「3Days Worker's Office構想」の実現に向けた取組を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくろいTaskAruネットワーク事務局による事業推進 相談等を実施 (R1相談件数:高齢者111件、事業所28件) ・大人の社会科見学 (38回、28事業所、103人) ・しごと体験(29回、22事業所、89人) ⇒うち34人が就労 ・大人の社会科見学等体験参加高齢者及び参加企業との座談会(34回 開催) <p>○ICTコミュニティ情報発信事業☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LINE公式アカウント <p>LINEを活用してコミュニティセンターから地域行事や社会教育学級・講座等の情報配信の検証事業を実施(袋井東、袋井西、袋井北、今井、三川、笠原、山名、浅羽東、浅羽北)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域版ホームページ <p>市のホームページと分け、コミュニティセンターに特化したホームページを一本化し、コミュニティセンター等の活用に役立つ情報を配信</p>	産業政策課 市長公室 協働まちづくり課 ICT政策課
3-2 セルフメディケーションの 推進						<p>○健康管理システム(アプリ)「#2961ウオーク」本格稼働☆ (R1年度末現在:3,865人登録(システム:3,782人、チャレンジカード:83人))</p> <p>○健康経営の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業等訪問数 91事業所(累計185事業所) ・袋井市健康経営チャレンジ事業所 登録61件(累計131事業所) <p>○地域健康意識向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張保健センター 全10回 全コミュニティセンターで開催 (128回 延べ3,372人) <p>○食育推進事業(保育所、幼稚園、小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育講座(25回、延べ919人) ・作法講座(27回、延べ1,070人) ・栄養講座(18回、499人) 	健康づくり課 地域包括ケア推進課
3-3 歩いて楽しいまちづくり						<p>○東海道五十三次どまん中ふくろいウオーク (10/19)☆</p> <p>○ふくろい宿de花マルシェ(6/8、袋井宿場公園・メモリアル広場)☆</p> <p>○原野谷川にぎわい創出事業(ミズベリング)☆ ⇒市内外から歩くためにきてもらえる水辺空間を創出(10/27、11/17、2/15、3/7)</p> <p>○愛野駅メモリアルロード整備☆ (モニュメント補修・花壇)</p> <p>○JR袋井駅南北連絡線乗降客(R2.3.31現在10,650人/日)</p>	スポーツ政策課 都市整備課
3-4 自転車を活かしたまちづくり						<p>○電動アシスト付き自転車購入費補助事業 (市内在住60歳以上に1万円/人を補助) ⇒60件延べ60万円補助</p> <p>○電動アシスト付き自転車貸出事業 (市内在住60歳以上に最長3ヶ月間) ⇒延べ31人に貸出</p> <p>○サイクルロードレース開催事業 日本学生自転車競技連盟主催の全国大会を開催(11/4@エコパ 139人)</p>	協働まちづくり課 スポーツ政策課

3 評価指標の達成度

[評価基準：達成 5点 😊 順調 4点 😊 概ね順調 3点 😊 低調 1点 😞]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

3-1 プラチナ社会の実現への取組

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
健康寿命の延伸(お達者度) [↑]【出典：第2次総合計画／健康づくり計画】	年	男17.51 (県内15位) 女20.87 (県内20位) (H24)	男17.44 (県内19位) 女20.86 (県内21位) (H25)	男17.46 (県内24位) 女20.77 (県内21位) (H26)	男17.66 (県内24位) 女21.02 (県内21位) (H27)	男17.78 (県内23位) 女21.18 (県内21位) (H28)	男18.37 (県内14位) (10位以内) 女21.44 (県内16位) (10位以内) (H29)	😊
子育て世代の社会移動 [↓]【出典：市長公室】	世帯	△60 (H26)	△60	△80	△80	△60	△50 (±0)	😊

3-2 セルフメディケーションの推進

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
「地域共通診察券」参加医療機関数 [↑]【出典：地域包括ケア推進課】	機関	— (H26)	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施 (39)	😞

3-3 歩いて楽しいまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
JR袋井駅南北自由通路利用者数 [↑]【出典：企画政策課】	人/日	8,098 (H26)	8,134	未実施	未実施	未実施 (R2実施予定)	未実施 (10,000)	😊

3-4 自転車を活かしたまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
1週間に1回以上自転車を利用する 人の割合 [↑]【出典：自転車を活かしたまちづくり指針】	%	20.3 (H26)	—	16.6	14.7	—	— (25.0)	😞

【第1期総括】健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦



総合評価(暫定)



総合評点 2.0

4 創生会議等における主な意見 (■…首都圏部会、●…ふくろい部会)

■コロナ禍によって近隣・近所、自治体との共同体意識が高まったことが、これからの公助が縮小せざるを得ない状況下において求められる(未来を共創する)「共助」の手掛かりとなり。今後は、その安心・信頼の度合いによって、自治体やコミュニティは選別されていく。他方、市民や事業者の自主性が芽生えるような働きかけも必要である。

⑦文部科学省「学校給食表彰」受賞

学校給食における市内産野菜を積極的に活用した地産地消率の向上や児童の食育の推進を図るための収穫体験等の取り組み、また、学校給食における食物アレルギー対応等が高く評価され、中部学校給食センターが文部科学大臣表彰を受けた。



[左] 収穫体験



[中] 食育講話



[右] 「学校給食表彰」受賞

⑧ふくぶくつうちょう&ほんナビきっず

市内で児童書の貸出総数が減少傾向にある中、本を読む子どもを増やすため、本を借りた日や書名、著者名、本の金額を館内の機械で印字できる「ふくぶくつうちょう」とインターネット上で様々なキーワードやジャンルを選びながら本を検索できる「ほんナビきっず」のサービスを袋井図書館、浅羽図書館、月見の里学遊館図書館分室で開始した。



[左] 「ふくぶくつうちょう」



[右] 「ほんナビきっず」

第1期総合戦略の総括

■ 挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

- ICT 教育環境の充実をはじめ、プログラミングや英語教育、幼少中一貫教育や Edtech など時代を先取る取組を推進した。
- 防潮堤整備と一体となった工業用地の確保、企業誘致の成功により防災・減災対策の充実と地域内に新たな産業を創出した。
- エコパドリームプロジェクトなど近未来技術を身近に触れ、感じることができる実証事業を通じた実践的な産学官連携を推進した。

総合評価



総合評点 3.5

■ 挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

- 風鈴まつりやライトアップ事業など、既存の観光資源を活かした新たな事業の創出により観光交流客数は軒並み基準値を上回り、平成 29 年度には過去最高を達成。
- クラウンメロンの海外輸出のほか、国内大手メーカーらと新たな商品開発を同時に展開。国内外の需要喚起により、産業及びブランドの認知度と収益性の向上に繋がった。
- 水田管理センサーなど、スマート農業に向けた実証事業を展開した。

総合評価



総合評点 4.1

■ 挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

- 「3 Days Worker's Office 構想」を掲げ、人生 100 年時代を見据えた新たな社会や地域の在り方を模索。厚労省モデル事業を活用し、健康長寿で暮らしを楽しむ地域づくりの礎を築いた。
- コミュニティセンターの活動基盤の強化を目的に、ICT を活用したコミュニケーションツールの実証事業などを実施した。
- 健康づくりの取組は着実に進んでいる一方、地域共通診察券の導入など医療と健康との連携の進化までは至らなかった。

総合評価 (暫定)



総合評点 2.0

概ね順調

第1期総括 (暫定)



総合評点 3.2

第1期総合戦略の総括については、人口面（ひと）は、88,316人（R2.4.1 現在）と人口ビジョンで定めた人口を約1,300人上回り、高齢化率の低さも県内23市でトップを維持。産業面（しごと）は、観光交流客数が500万人に迫る勢いで過去最高を達成したほか、製造品出荷額も5,800億円強とリーマンショック前を上回る水準まで回復。生活面（まち）では、国に先駆け人生100年時代を見据えた「3 Days Worker's Office 構想」の仕組みづくりに着手したほか、幼少中一貫教育の推進やコミュニティセンターの設置・強化など、将来にわたり変化し続ける社会への対応に向けた基盤の構築ができたことに加え、3つの挑戦における各指標を踏まえ、第1期総合戦略の取組は「概ね順調」と評価した。

(注) この評価は、現時点で公表されていない指標が一部あるため暫定評価となっております。

地方創生事業関連予算
(H27~R2)

予算総額 9.89 億円 (うち国補 6.33 億円)

第4章 戦略を支える取組 [第2次総合計画]

評価指標の達成度

[評価基準：達成 😊 順調 🌟 概ね順調 😊 低調 😞]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

4-1 活力みなぎる産業のあるまちづくり

(参考：国の政策分野1) 地方における安定した雇用を創出する

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合[↑]【出典：市民意識調査】	%	— (H26)	21.4	25.8	35.3	26.8	35.9 (50.0)	😊
製造品出荷額等(従業員4人以上) [↑]【出典：第2次総合計画/工業振興計画】	億円	4,957 (H25)	5,175 (H26)	5,370 (H27)	5,768 (H28)	5,880 (H29)	6,437 (5,340)	🌟
観光交流客数 ※再掲 [↑]【出典：第2次総合計画 /観光基本計画(後期計画)】	万人	423 (H26)	466	464	495	475	478 (新505) (旧468)	🌟
主要農産物産出額 [↑]【出典：第2次総合計画/農業振興ビジョン】	億円	77.6 (H26)	73.3	70.6	69.8	72.8	67.5 (75.7)	😞

4-2 快適で魅力にあふれ安全・安心に暮らせるまちづくり

(参考：国の政策分野2) 地方に新たな人の流れをつくる

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
袋井市が住みよいところと思っている人の割合[↑]【出典：市民意識調査】	%	73.3 (H26)	66.4	67.3	65.9	71.9	71.3 (80.0)	😞
地区計画などの実施面積 [↑]【出典：第2次総合計画】	ヘクタール	299 (H26)	299 3箇所 協議中	299 3箇所 協議中	308 2箇所 協議中	308 2箇所 協議中	355 (360)	😊
一人1日あたりの可燃ごみの排出量 [↓]【出典：第二次総合計画/参考：環境基本計画】	グラム	518 (H26)	529	529	529	543	544 (512)	😊
公共施設のWi-Fiスポット設置割合 [↑]【出典：第2次総合計画/参考：ICT推進計画】	%	42.5 (H26)	45.0	57.5	62.5	75.0	77.5 (87.5)	😊
住宅の耐震化率 [↑]【出典：第2次総合計画 /参考：耐震改修促進計画】	%	91.3 (H26)	92.0	92.6	93.3	93.9	94.4 (94.4)	😊
浸水被害想定家屋数 [↓]【出典：第2次総合計画 /参考：中部豪雨災害対策アクションプラン】	戸	295 (H26)	295 高尾放水路 整備中	295 高尾放水路 整備中	261	261	261 (261)	🌟
人身事故件数 [↓]【出典：第2次総合計画 /参考：第9次交通安全計画】	件	775 (H26)	758	720	749	649	559 (740)	🌟

4-3 こどもがすこやかに育つまちづくり

(参考: 国の政策分野3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
「自分が住んでいるまちが子どもを産み、 育てやすいところ」と感じている人の割合 [↑]【出典: 市民意識調査】	%	— (H26)	49.3	38.9	45.1	45.8	49.4 (80.0)	☹️
合計特殊出生率 [↑]【出典: 第2次総合計画】	%	1.71 (H25)	1.73 (H26)	1.69 (H27)	1.64 (H28)	1.79 (H29)	1.67 (1.81)	☹️
保育所待機児童数 [↓]【出典: 第2次総合計画 ／参考: 子ども・子育て支援事業計画】	人	30 (H27)	25 (H28)	27 (H29)	28 (H30)	58 (H31)	33 (0)	😊
全国規模の学力調査で全国平均を上回る 科目の割合(小6・中3) [↑]【出典: 第2次総合計画】	%	50.0 (H26)	10.0	100.0	12.5	0	50.0 (87.5)	😊

4-4 市民がいいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり

(参考: 国の政策分野4) 時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 (目標値)	評価
「地域の絆や支え合いの仕組みが 形成されている」と感じている人の割合 [↑]【出典: 市民意識調査】	%	— (H26)	43.3	37.0	41.9	50.6	45.1 (80.0)	☹️
お達者度(男性／女性) ※再掲 [↑]【出典: 第2次総合計画／健康づくり計画】	年	男17.51 (県内15位) 女20.87 (県内20位) (H24)	男17.44 (県内19位) 女20.86 (県内21位) (H25)	男17.46 (県内24位) 女20.77 (県内21位) (H26)	男17.66 (県内24位) 女21.02 (県内21位) (H27)	男17.78 (県内23位) 女21.18 (県内21位) (H28)	男18.37 (県内14位) (10位以内) 女21.44 (県内16位) (10位以内) (H29)	😊
市国保特定健診で糖尿病が強く疑われる人 の割合 [↓]【出典: 第2次総合計画／健康づくり計画】	%	9.2 (H25)	9.7 (H26)	10.3 (H27)	10.6 (H28)	10.4 (H29)	10.5 (7.8)	☹️
総合健康センターでの総合相談件数 [↑]【出典: 第2次総合計画】	件	2,500 (H26想定値)	2,080	2,495	2,828	3,423	4,930 (2,900)	😄
自治会加入率 [↑]【出典: 第2次総合計画】	%	87.5 (H27)	87.2 (H28)	86.4 (H29)	85.9 (H30)	85.3 (H31)	85.3 (89.5)	☹️
協働まちづくりセンター登録団体数 [↑]【出典: 第2次総合計画】	団体	46 (H26)	52	58	54	53	51 (66)	😊
「男女共同参画社会づくり宣言」 宣言事業所の数 [↑]【出典: 第2次総合計画 ／第3次男女共同参画推進プラン】	事業所	30 (H26)	39	49	49	50	51 (65)	😊

第5章 地方創生交付金等の活用状況

○平成27年度 「地方版総合戦略の策定&先行的な取組」

第1弾 ②6月補正⇒②7全額繰越

総額：116,161千円

○交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金【消費喚起・生活支援型】

○事業費 72,653千円（国費10/10）

○交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分

○施策の概要

地域における消費喚起策「元気はつらつクーポン券」（プレミアム付き地域商品券）の発行

発行冊数：33,000冊、発行総額：396,000千円（プレミアム率20%/66,000千円）

○交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型/基礎分】

○事業費 43,508千円（国費10/10）

○交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分

○施策の概要

・「地方版総合戦略」の策定のほか、まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業

ICT教育の充実強化（電子黒板の導入）、子育て応援アプリの開発、観光情報の多言語化、全国メロンサミットの開催、クラウンメロンの海外輸出支援、シティプロモーションほか

第2弾 ②711月補正

総額：20,000千円

○交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型/上乘せ交付（タイプⅠ）】

○事業費 10,000千円（国費10/10）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考

○施策の概要

・「3 Days Worker's Office 構想」策定事業

「週3日程度の就労」と「一定程度の所得」を得ることができる仕組みづくり

○交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型/上乘せ交付（タイプⅡ）】

○事業費 10,000千円（国費10/10）

○交付要件 地方版「総合戦略」を10月末までに策定した自治体に交付（施策の推進費）

○施策の概要

・まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業

ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、タブレットを活用した学習支援の社会実験
袋井商業高等学校の5年制化の推進、アクティブ育児応援プログラム

第3弾 ㉗2月補正⇒㉘全額繰越

総額：80,000千円

- 交付金名 **地方創生加速化交付金**
- 事業費 **40,000千円(国費10/10)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「3 Days Worker's Office 構想」実装化事業

- ・基礎調査(㉗実施)により抽出された課題整理と制度の詳細設計、推進協議会の開催
- ・「仕事の切り出し」や「シフトの組み方」など好事例の実践

- 交付金名 **地方創生加速化交付金**
- 事業費 **40,000千円(国費10/10)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「グローバル戦略」加速化事業

- ・TPPを見据えたクラウンメロンの輸出促進
新興国市場での需要喚起と販路拡大(トップセールス、海外バイヤー招聘ほか)
- ・ラグビーW杯を見据えた訪日外国人観光客のおもてなし環境整備
市民の英語力向上(英検受験助成ほか)、ふくろい版ホームステイ、シティプロモーション

○平成28年度 「本格的な地方創生事業の推進」

第4弾 ㉘9月補正

総額：50,000千円

- 交付金名 **地方創生推進交付金(1年目/H28-30) <第39回地域再生計画認定>**
- 事業費 **50,000千円(国費1/2)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・交流人口増加に向けた新成長分野の強化
市PR動画作成・首都圏プロモーション、サテライトオフィスの実証実験 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、クラウドファンディング推進 など
- ・人材育成/I T教育や観光教育の充実強化
I C T教育の充実強化(電子黒板導入校の拡大)、ロボットプログラミング教育支援 など

第5弾 ㊸2月補正⇒㊹全額繰越

総額：16,000千円

○交付金名 **地方創生拠点整備交付金<第41回地域再生計画認定>**○事業費 **16,000千円(国費1/2)**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

地域の縁側づくり「ENGAWAマーケット@浅西」実施計画

- ・縁側づくり(事務室の増築)と土間(庇)の設置
ENGAWA(事務室)ヒトとコトの交流ゾーン/DOMA(庇)モノの交流ゾーン
- ・備品購入(老朽化した味噌づくり用自動発酵機等の備品更新)

○平成29年度 「地方創生事業の加速」

第6弾 ㊹当初

総額：50,000千円

○交付金名 **地方創生推進交付金(2年目/H28-30)<第39回地域再生計画認定>**○事業費 **50,000千円(国費1/2)**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・交流人口増加に向けた新成長分野の強化
ふくろい版ホームステイ、クラウンメロンのブランド力向上、健康アプリ作成 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・人材育成/I T教育や観光教育の充実強化
I C T教育の充実強化(電子黒板導入校の拡大)、市民の英語力向上 など

第7弾 ㊹交付(国委託事業)

総額：20,004千円

○事業名 **生涯現役促進地域連携事業(1年目/H29-31)**○事業費 **20,004千円(国費10/10)**

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

ふくろいTaskAruネットワーク(3Days Worker's Office構想推進)事業

- ・高齢者の担い手づくり(職場見学会、就労体験、職能訓練の実施)
- ・新しい働き方・しごとづくり(需給双方による検討)
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

○平成30年度 「地方創生事業の深化」

第8弾 ⑩当初

総額：50,000千円

○交付金名 地方創生推進交付金（3年目／H28－30）〈第39回地域再生計画認定〉

○事業費 50,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・特産物やラグビーW杯をフックにした誘客活動や商品造成、IT企業と連携した働き方改革の実践
ふくろい版ホームステイ、ラグビー開催に向けた機運醸成、インバウンド観光推進 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・人材育成／IT教育や観光教育の充実強化
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、市民の英語力向上 など

第9弾 ⑩6月補正

総額：199,600千円

○交付金名 地方創生推進交付金（1年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉

○事業費 132,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「稼ぐチカラ」向上戦略

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
商店街・風鈴まつり×イルミネーション、農産物お土産開発、産業経済懇話会 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯に向けた誘客、ICTとSNSを活用した魅力発信 など

○交付金名 地方創生推進交付金（1年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉

○事業費 67,600千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

第10弾 ㊸交付（国委託事業）

総額：20,099千円

- 事業名 **生涯現役促進地域連携事業（2年目／H29－31）**
- 事業費 **20,099千円（国費10／10）**
- 交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業

- ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

○平成31年度 「第1期の総仕上げと第2期総合戦略を見据えた展開」

第11弾 ㊸当初

総額：195,000千円

- 交付金名 **地方創生推進交付金（2年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉**
- 事業費 **138,000千円（国費1／2）**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「稼ぐチカラ」向上戦略

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
商店街・風鈴まつり×イルミネーション・ライトアップ、自動運転走行実証 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯に向けた誘客、ICTとSNSを活用した魅力発信 など

- 交付金名 **地方創生推進交付金（2年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉**
- 事業費 **57,000千円（国費1／2）**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

第12弾 ③①交付（国委託事業）

総額：20,108千円

- 事業名 **生涯現役促進地域連携事業（3年目／H29－31）**
- 事業費 **20,108千円（国費10／10）**
- 交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要
ふくろいTaskAruネットワーク（3Days Worker's Office構想推進）事業
 - ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
 - ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
 - ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

○令和2年度 「第1期総合戦略のまとめと第2期総合戦略の策定」

第12弾 ③①当初

総額：151,500千円

- 交付金名 **地方創生推進交付金（3年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉**
- 事業費 **95,000千円（国費1／2）**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要
「稼ぐチカラ」向上戦略
 - ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
夜宵プロジェクト、ミズベリング、サイクルロードレース、自動運転走行実証 など
 - ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯関連事業、ICT・SNSを活用したシティプロモーション など



- 交付金名 **地方創生推進交付金（3年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉**
- 事業費 **56,500千円（国費1／2）**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など



⑨輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと・創生会議

地方創生の実現に向けた取組の加速・深化を目的として、各々の専門分野から幅広く意見をいただくとともに、政策立案に向けた議論を行うため、市内（県内）及び首都圏で幅広く活躍されている産学官の代表者らにより構成する「ふくろい部会」・「首都圏部会」、市内金融機関等の支店長により構成する「金融機関支店長会議」を次のとおりそれぞれ設置し、会議を開催している。



■地方創生会議委員名簿 (R元.6末現在／順不同・敬称略)

【ふくろい部会】

所属	役職	氏名	所属	役職	氏名
(株)杏林堂薬局	代表取締役	青田 英行	袋井市観光協会	会長	谷 敦
Realabo (食と子育てを楽しむサークル)	代表	足立 美和	袋井商工会議所	顧問	豊田 富士雄
宗教法人法多山尊永寺	住職	大谷 純應	静岡産業大学経営学部	客員教授	丹羽 由一
日本貿易振興機構浜松貿易情報センター	所長	志牟田 剛	静岡理科大学	学長	野口 博
(株)THE BLUE OCEAN	代表取締役	竹原 興紀	山名学園山名幼稚園	理事長	諸井 理恵

【首都圏部会】

所属	役職	氏名	所属	役職	氏名
凸版印刷(株)	特別相談役	足立 直樹	ココカラファイン(株)	代表取締役社長	塚本 厚志
(株)大和総研	主席研究員	内野 逸勢	イービストレード(株)	代表取締役社長	寺井 良治
ネオファーマジャパン(株)	代表取締役	河田 聡史	(株)大和コンピューター	代表取締役社長	中村 憲司
(株)三菱総合研究所	主席研究員	北井 渉	楽天カード(株)	常務執行役員	幡鎌 大介
(株)JTB	人材開発部長	鈴木 良照	(株)コクーン	代表取締役	松本 朋丈

【金融機関支店長会議】

静岡銀行	スルガ銀行	清水銀行	静岡県労働金庫	浜松磐田信用金庫
島田掛川信用金庫	遠州中央農業協同組合	日本政策金融公庫		

■ 地方創生会議開催状況

[ふくろい部会（委員：6人（～H30）10人（R元～）]

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.19（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」の方向性について
2	H27.7.21（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について ①人口ビジョン（素案）、②政策パッケージ（骨子案）
3	H28.6.29（月）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換、企業版ふるさと納税
4	H29.6.28（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
5	H30.6.27（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
6	R元.7.8（月）	袋井市役所	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
7	R2.2.13（木）	袋井市役所	第2期総合戦略素案について、意見交換

[首都圏部会（委員：10人）]

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.12（火）	都市センターホテル	袋井版「総合戦略」の方向性について
2	H27.7.31（金）	都市センターホテル	袋井版「総合戦略」について ①人口ビジョン（素案）、②政策パッケージ（骨子案）
3	H28.7.3（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換、企業版ふるさと納税
4	H29.7.3（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
5	H30.7.3（火）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
6	R元.7.1（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
7	R2.2.12（水）	NIPPON GALLERY	第2期総合戦略素案について、意見交換

[金融機関支店長会議（委員：8人）]

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.26（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」策定方針について
2	H27.7.29（水）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について意見交換 ①人口ビジョン（素案）、②政策パッケージ（骨子案）
3	H27.10.20（金）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について意見交換 ①人口ビジョン、②総合戦略/政策パッケージ
4	H28.3.2（水）	袋井市役所	地域内の就労に関する需要供給調査について（調査依頼）
5	H28.7.22（金）	袋井市役所	地域内の就労に関する需要供給調査について
6	H29.2.15（水）	袋井市役所	平成29年度当初予算の概要について、3Days Worker's Office構想について
7	H29.11.1（水）	袋井市役所	平成28年度地方創生取組結果の概要 政策立案に向けた意見交換
8	H30.8.23（木）	袋井市総合センター	平成29年度地方創生取組結果及び平成30年度取組の概要 政策立案に向けた意見交換
9	R元.7.17（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
10	R2.3.2（月）	袋井市総合センター	第2期総合戦略素案について、意見交換

⑩地方創生の実現に向けた「政策勉強会」

地方創生の実現に向け、時代をリードする新技術や価値観などに携わる有識者を招聘し、知識を深めるとともに、政策立案につなげていくことを目的として、市長をはじめ、庁内幹部職員及び市議会、商工会議所等関係団体を対象とした「政策勉強会」を開催している。

No.	開催日	場所	内容
1	H27.12.19 (土)	エコパ スタジアム	ラグビーワールドカップの魅力について 【講師】ラグビーワールドカップ2019組織委員会 事業部長 伊達亮氏 メガスポーツイベントを契機とした新たなまちづくり 【講師】EY総合研究所(株) 未来社会・産業研究部長 小川高志氏
2	H28.1.21 (木)	袋井市役所	労働市場の今後と政策課題 ～高齢者就労の実態～ 【講師】(株)リクルートワークス研究所 主任研究員 戸田淳仁氏
3	H28.2.18 (木)	袋井市役所	ホームステイ × まちの国際化 ～我が家は、ときどきインターナショナル～ 【講師】Homestay in Japan/(株)ネクステージ 代表取締役 竹島千歳氏
4	H28.11.9 (水)	袋井市役所	I C Tまちづくりの近況と今後の展望について 【講師】東京大学大学院情報学環 教授 須藤修氏
5	H29.9.1 (金)	袋井市役所	シェアリングエコノミーをめぐる近況と今後の展望について 【講師】(一社)シェアリングエコノミー協会 内閣官房シェアリングエコノミー伝道師 積田有平氏
6	H30.12.25 (火)	袋井市役所	変化の激しい時代を生きる子ども達のこれからの教育とは 【講師】小金井市立前原小学校校長 松田孝氏、 Google Japan Google for Education マーケティング統括部長 スチュアート・ミラー氏
7	H31.3.15 (金)	袋井市役所	地域所得力調査の結果から見る袋井の現状と課題 【講師】(一財)静岡経済研究所調査研究部長 山田慎也氏
8	R元.6.25 (火)	袋井市役所	塩尻市に見る産学官民による地域I C Tの推進 【講師】総務省地域情報化アドバイザー 金子春雄氏
9	R元.12.17 (火)	袋井市役所	データから見る袋井市の地域経済の実態について 【講師】(株)価値総合研究所 主席研究員 山崎清氏

⑪金融機関との連携強化／地方創生の推進に係る連携協定

地方創生の実現に向け、各々の強みを活かした特色ある連携や取組を展開するため、次のとおり個別に「取組テーマ」を設定し、連携協定を締結した。

【連携協定の状況】

(R2.6未現在)

No.	金融機関名	調印日	取組テーマ
1	磐田信用金庫	H27.9.7	「農業」と「食」に関すること (例) 新規就農者等の創業支援
2	静岡銀行	H28.1.19	「健康」をキーワードにした施策連携 (例) 産業×健康づくりほか
3	浜松信用金庫	H28.1.21	アウトバウンド戦略とインバウンド戦略 (例) 農産物の海外輸出と観光PR
4	掛川信用金庫	H28.2.15	潜在的な労働力の発掘 (例) 女性の活躍などの創業支援
5	遠州中央農業協同組合	H28.2.18	競争力のある商品づくり (例) ふるさと納税返礼品の充実
6	スルガ銀行	H28.3.14	まちの賑わいづくり (例) 空き店舗の利活用
7	静岡県労働金庫	H28.3.17	若者〔勤労者〕の定住促進 (例) 住まい方など将来設計への助言
8	清水銀行	H28.3.25	地域を担う人材育成の推進 (例) 実践的な金融経済教育の普及

■金融機関との連携による取組事例

○**共通事項（全ての金融機関が参画）** 地域内就労需要供給実態調査、金融機関支店長会議

○**個別事項（協定締結順／R2.6未現在）**

- ・ 磐田信用金庫 特産品PRイベント仲介（山口県宇部市）
- ・ 静岡銀行 地方創生特設PRブース設置（袋井支店）
- ・ 浜松信用金庫 クラウンメロンのタイ輸出支援、クラウドファンディング推進
- ・ 遠州中央農業協同組合 農協祭での健康づくりPR
- ・ スルガ銀行 法多山門前再興プロジェクト
- ・ 静岡県労働金庫 ろうきん遠友会住宅フェスティバルでの定住PR

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.208

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

トッパン・フォームズ東海
グループ最大級の製造拠点が完成

2020.3
本社移転予定

“ふじのくに”のボランティアを拓く取組み
防災減災 × 地域成長 × 多様なライフスタイル創生モデル

2019.11.1 静岡新聞

トッパン・フォームズ東海
袋井工場が操業開始

【工場名称】トッパン・フォームズ東海（株）袋井工場
【所在地】静岡県静岡市清水区袋井1-1-1
【敷地面積】77,000㎡
【建物面積】10,000㎡
【従業員数】720人
【工場内容】ポリスチレン（発泡スチレン）カード、RFIDタグ製品の製造、生産物の物流サービス

【工場概要】トッパン・フォームズ東海（株）袋井工場は、2020年3月に操業開始する。同社は、本社・本拠地である静岡県静岡市清水区に本社を設け、全国各地に工場を展開している。袋井工場は、同社の主力製品であるポリスチレン（発泡スチレン）カードの生産に特化した工場として、2020年3月に操業開始する。同工場は、最新の生産設備を導入し、高品質な製品の生産を実現する。また、物流センターを併設し、生産物の効率的な出荷を実現する。同工場は、同社の主力製品であるポリスチレン（発泡スチレン）カードの生産に特化した工場として、2020年3月に操業開始する。同工場は、最新の生産設備を導入し、高品質な製品の生産を実現する。また、物流センターを併設し、生産物の効率的な出荷を実現する。

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.210

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

自分ごとを広げ、仲間ごとを知る
～一緒に考えるきっかけづくり～

ライブ活動
音楽鑑賞
ゲーム体験
絵を描く
アニメ鑑賞

私たちのイマ

今、恋してる？

恋してる？ 40.5%

恋してない？ 59.5%

旅行先で恋してる？ 10.5%

旅行先で恋してない？ 89.5%

旅行先で恋してる？ 10.5%

旅行先で恋してない？ 89.5%

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol. 219

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

ECOPAドリームプロジェクト
自動運転実証（第2弾）

ハンドルやブレーキのない特殊車両が
一般車両との混合交通に挑戦！

特別車で自動運転実験

県内初

公道走行、県内初

2020.2.28日実施（情報）

特別車は、公道走行、県内初

公道走行、県内初

挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol. 182

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

クラウンメロンの魅力を
届けたい！

クラウンメロンの
新たな仲間が増えました

西角いしつりメロン（クラウンメロン）
130g（税込）14.0円

東海北陸地区
（エリア限定販売）

特産三ツ尖静岡県産マスクメロン
130g（税込）19.2円

全国販売

特産三ツ尖 静岡県産マスクメロン
130g（税込）19.2円

2019.8.1～8.31

提供場所：JR米路線（日本発）
※一部路線を除く

提供期間：2019.8.1～8.31

提供場所：JR米路線（日本発）
※一部路線を除く

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol. 184

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

ANA × クラウンメロン
地域活性化のためのプロジェクト
「Tastes of JAPAN by ANA」

特産のメロンが
ついに、ファーストクラス（機内食）に採用！

FIRST CLASS

提供期間：2019.8.1～8.31

提供場所：JR米路線（日本発）
※一部路線を除く

提供期間：2019.8.1～8.31

提供場所：JR米路線（日本発）
※一部路線を除く

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol. 185

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

ふじのくにしずおか観光大賞
大賞受賞

全国だんごまつり

どまん中ふるろい
全国だんごまつり

2019.6.30

だんごの聖地「法多山」に全国の名物だんごが大集合する一大イベント「どまん中ふるろい全国だんごまつり」観光協会の大賞を受賞

袋井市は
昨年度に続き
二年連続の大賞受賞

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol. 189

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

スマート農業
身近な農場で
機器の実演会

J A 遠州中央が初開催

日：2019.7.30 場：袋井市下山地区内

農業用ドローンやロボットトラクターを紹介！

2019.7.31 静岡新聞（朝刊）

スマート農業を推進する

スマート農業を推進する

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol. 198

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

「メロンです。請求書です。」
山崎製パン 株が期間限定で全国発売

メロンパンX

テレビ朝日ドラマ「Doctor-X」とのタイアップ

ドラマの名物シーンに登場する「メロン」をテーマに開発

「メロンパンX」の外側の部分となるピスタチオ生地と中の（メロン）生地の両方に、静岡県産クラウンメロンの果汁を使用

山崎製パン（株）が、地元産品の活用を推進する「メロンパンX」を開発

山崎製パン（株）が、地元産品の活用を推進する「メロンパンX」を開発

輝く“ふるろい”まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol. 202

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

「5G」× ECOPA
～マルチアングル視聴などの新しい観戦スタイルを実現～

ラグビーワールドカップ2019TM 日本大会で5Gサービスを提供

スタジアムでの取り組み：マルチアングル視聴

docomo

2019.9.28@小豆山総合運動公園「エコパスタジアム」

ラグビーワールドカップ2019TM 日本大会で5Gサービスを提供

スタジアムでの取り組み：マルチアングル視聴

docomo

2019.9.28@小豆山総合運動公園「エコパスタジアム」

ラグビーワールドカップ2019TM 日本大会で5Gサービスを提供

スタジアムでの取り組み：マルチアングル視聴

docomo

2019.9.28@小豆山総合運動公園「エコパスタジアム」

輝く"ふるくろい"まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.204

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～読者のDNAを呼び起こせ～

今和元年 11/15(金)
令和2年 2/16(日)

Fukunome
みく 呑

Night Time Economy
～街の自慢に光を当てる～

市内鉄骨各車の写真提供による壁面イルミネーション

10万冊発行プロジェクト

輝く"ふるくろい"まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.213

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～読者のDNAを呼び起こせ～

炭焼きハンバーグレストラン
「さわやか」袋井に本社移転

さわやか株式会社
さわやかの森

本部機能と研修機能を一元化

2019.12.12静岡新聞 (朝刊)

さわやか袋井に本社移転
新社屋完成で来年3月

輝く"ふるくろい"まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.221

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～読者のDNAを呼び起こせ～

クラウンメロン×中東・欧州へ
現地企業3社と取引が成約

中東最大級の食品見本市
2020.2.16-20 GulfFoodの Dubai

2020.2.24 有田新聞 中東最大級の食品見本市

2020.2.27 静岡日本大学新聞

挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

輝く"ふるくろい"まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.203

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～読者のDNAを呼び起こせ～

全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ 第7戦
東海道どまん中 袋井ラウンド

大学生の自転車競技NO.1を決める
「全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ」が
今年も袋井へやってくる！
学生達の熱い戦いを見逃さない！

自転車を活かしたまちづくり ～学生×ECOPA編～

2019.11.5 静岡新聞 (朝刊)

日時 2019年11月4日(月) 午前10時50分

場所 小笠原運動公園「エコパ」

主催 日本学生自転車競技連盟 袋井市

主審 東海道どまん中 袋井ラウンド実行委員会

輝く"ふるくろい"まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.205

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～読者のDNAを呼び起こせ～

袋井市総合体育館
さわやかアリーナ

12月1日(日)プレオープン!

市内公共施設で初めてPFI方式と
ネーミングライツを採用

落成記念イベント

2019.11.25 静岡新聞 (朝刊)

総合体育館完成成祝う
自転車愛好者も盛りだくさん

輝く"ふるくろい"まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.206

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～読者のDNAを呼び起こせ～

cookpad × 袋井市公式キッチン開設

袋井市(静岡県)のキッチン

～管理栄養士考案のレシピを紹介～

2019.11.27

輝く"ふるくろい"まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.207

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～読者のDNAを呼び起こせ～

文部科学省「学校給食表彰」受賞

ドレッシングまで手づくりで
ほろほろ!

地産地消 & 手作り給食が高評価

2019.11.21 静岡新聞

地産地消推進評価

77.2% (89/115)

58.0% (40/69)

1,111人

輝く"ふるくろい"まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.209

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～読者のDNAを呼び起こせ～

子どもがワクワクする図書館づくり
探求的な学び(新たな発見)をサポート

調べる・読む楽しさを伝えたい!

読書好きな子が増えて

2019.12.2

輝く"ふるくろい"まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.212

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～読者のDNAを呼び起こせ～

ふじさんっこ応援隊大賞
「審査員特別賞」受賞

みんなの笑顔は、こんな笑顔でいっぱい!

子育て支援ネットワーク「みんなのほっけ」

2019.11.15 静岡新聞